なめりかわ
市議会だより
No.170
平成25年５月１日発行

滑川市議会
☎(076)475－2111
E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

中学校PTA役員等と市議会との意見交換会
（平成25年２月８日　市民会館３階大会議室）

滑川商工会議所と市議会との意見交換会
（平成25年４月11日　商工会議所大会議室）

各種団体との意見交換会

平成25年３月定例会一覧

開会　３月４日
閉会　３月22日　｝会期19日間

○本会議（主な内容）

- ４日　会期の決定
  - 提案理由説明
  - 予算特別委員会の設置及び委員の選任
  - 補足説明
- ５日　補足説明
- 11日　代表質問・一般質問
- 12日　一般質問
  - 予算特別委員会の正副委員長の選任
  - 議案の委員会付託
- 22日　議案の撤回
  - 追加提案
  - 議案の委員会付託
  - 委員長報告・質疑・討論・採決
  - 追加提案
  - 提案理由説明・採決
  - 議員提出議案
  - 提案理由説明・質疑・討論・採決
  - 議員派遣
  - 閉会中の継続審査

○委員会

- ５・12・22日　議会運営委員会
- 13・14・22日　総務文教消防委員会
- 15・18日　産業厚生建設委員会
- 19日　予算特別委員会

○議案の審議結果

予算（原案可決）	13件
条例（原案可決）	17件
その他（原案可決）	9件
人事（原案同意）	1件
議員提出（原案可決）	1件
議員提出（原案否決）	3件
合計	44件

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は６月です。

◇平成25年度当初予算総額209億651万円を可決（前年度比較3.2%の減）

◇「地方固有の財源である地方交付税制度の堅持を求める意見書」を可決

3月定例会

市議会3月定例会は、3月4日から22日までの19日間の会期で開催されました。
審議した案件は、平成25年度一般会計予算をはじめ、平成24年度一般会計補正予算から条例等の市長提出議案38件（追加議案2件を含む）、議員提出議案4件、議員派遣及び閉会中の継続審査の合計44件です。
審議の結果、市長提出議案の38件は原案どおり可決、同意等なされました。また、議員提出議案の1件は原案どおり可決されましたが、3件について原案否決となり、議員派遣及び閉会中の継続審査は可決されました。

本会議

◇3月4日に本会議を開き、まず会期を22日までの19日間と決めた後に、平成25年度一般会計予算や平成24年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案37件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。
その後、予算特別委員会の設置及び委員の選任をしました。
一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。（5日も補足説明）
◇11日、12日は代表質問及び一般質問が行われ、14名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行った後、予算特別委員会の正副委員長を選任し、市長提出議案を所管の各常任委員会及び予算特別委員会へ付託しました。
◇最終日の22日には本会議を再開し、議案の撤回の後、追加提案があり、その議案を総務文教消防委員会に付託しました。
本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長及び予算特別委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。
次に、議案第3号及び議案第37号に対する反対討論がそれぞれ1名の議員からなされました。
分離採決の結果、議案第3号は、各常任委員長の報告のとおり賛成多数で可決、議案第37号についても総務文教消防委員長の報告のとおり賛成多数で可決されました。
また、その他の35議案は一括して採決され、各常任委員長及び予算特別委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。
その後、市長から人事案件として、滑川市公平委員会委員に**椎名敏夫**氏の推薦について追加提案され、同意いたしました。
続いて議員提出議案4件の提案理由説明の後、採決を行い1件は可決、3件については否決されました。
最後に議員派遣と閉会中の継続審査を議決して、3月定例会を閉会といたしました。

◆予算特別委員会（◎委員長、○副委員長）

◎前田　新作　○古沢　利之
水野　達夫　高木　悦子
原　　明　岩城　晶巳
石倉　正樹　中島　勲
浦田　竹昭　開田　晃江
中川　勲　砂原　孝
野末　利夫　森　結
高橋　久光

第1回臨時会

平成25年第1回市議会臨時会は、会期を2月12日の1日間と決めた後に、「工事請負契約の締結について」及び「地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて」の市長提出議案2件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。
次に、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。
その後、本会議を再開し、各常任委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、各委員長報告のとおり、賛成全員で可決または承認されました。
続いて議員提出議案「滑川市議会

政務活動費の交付に関する条例の制定について」が提案され、提案理由説明の後、反対討論が1名の議員からあり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

最後に、富山県東部消防組合議会の議員を選挙し、第1回臨時会を閉会といたしました。

◇富山県東部消防組合議会議員
中川　勲　砂原　孝
野末　利夫

日誌

25年2月

5日 議会運営委員会
7日 新川育成牧場組合議会定例会（魚津市）
新川畜産公社理事会、臨時会（魚津市）
8日 議会運営委員会協議会
定例議員協議会
県市議会議長会定期総会（富山市）
中学校ＰＴＡ役員等と市議会との意見交換会
12日 全員協議会
第1回臨時会
産業厚生建設委員会協議会
13日 富山地区広域圏事務組合議会2月定例会（富山市）
18日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会（東京都）
20日 県東部消防組合議会
全員協議会（魚津市）
21日 並行在来線等問題特別委員会協議会
22日 全員協議会
産業厚生建設委員会協議会
富山地域衛生組合2月定例会（上市町）
25日 県東部消防組合議会臨時会（魚津市）
25日 議会運営委員会
26日 滑川中新川地区広域情報事務組合議会２月定例会
28日 定例議員協議会

3月

4～22日 ３月定例会
22日 議会報編集委員会
28日 災害に強いまちづくり検討特別委員会協議会

4月

4日 北信越市議会議長会定期総会（富山市）
10日 定例議員協議会
議会報編集委員会
11日 滑川商工会議所と市議会との意見交換会
17日 議会報編集委員会
18日 滑川中新川地区広域情報事務組合議会臨時会
23日 議会運営委員会
26日 産業厚生建設委員会協議会
第２回臨時会
30日 総務文教消防委員会協議会

代表 一般 質問

3月定例会では14名の議員が質問を行い、50項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、6月中旬頃までには、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。）

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問

1 市制60周年について
2 市長の今任期残り1年の思いについて
3 滑川市の財政状況について
4 富士原企画政策課長に伺う

（会派＝一心クラブ）　**高橋　久光 議員**

Q 市制60周年にあたり、限られた予算で最大の効果のある事業であってほしいと思うが、60周年記念事業の総合的な内容を具体的に示されたい。

A 池本総務部長　新規や拡充事業で36の事業を予定している。具体的には、11月1日に記念式典、これに開催費700万円を計上し、その他、宿場回廊ウオークラリーやグルメイベントの開催、テレビ番組制作による全国放送といった観光行政推進事業費に750万円を計上している。また、鈴木孤雲展や長谷川喜十郎展等、各種展覧会等開催費に587万円、第14回とやま森の祭典開催費補助金に470万円、市民スポーツフェスタ開催費130万円。このほか、防災講演会や食育講演会、電子版の市勢要覧の作成、原動機付き自転車用のご当地ナンバープレートの作成等、1年を通じて多彩な事業を展開する予定である。

Q 多くの公約を持って職務につかれ、達成できた事柄、先送りしなければならない事業などがあると思うが、市長の思いは。

A 上田市長　市長の信任をいただき3年の月日が過ぎた。皆様のご理解とご協力を賜り、マニフェストの実現に向けて努力を重ねてきた。4本の基本的な柱と83項目の施策は、できるものから順次実現させ、7割程度が達成または順調に進捗していると考えている。

Q 3年前、市長は「財政は危機的状況」と訴えられたが、現在はどう変わったか。また、今後は。

A 池本総務部長　実質公債費比率については、平成20年度21・8％で県内10番目、将来負担比率も116・6％で全国平均を上回る状況だった。3年を経過した平成23年度では、実質公債費比率14・7％、将来負担比率70・8％と大きく逓減する状況である。今後の財政状況は、景気の回復が期待されるが、財源不足は今後も続くと見込まれる。今後も健全な財政の運営に努力していきたい。

Q 富士原企画政策課長就任2年の思いと感想は。

A 富士原企画政策課長　滑川市に着任して、挨拶と現場主義の徹底に感心した。滑川市のために微力ながら仕事ができたことを光栄に感じている。

代表質問

1 平成25年度予算編成について
2 滑川市制60周年記念について
3 市民交流プラザの運営について

（会派＝自民改革クラブ）浦田竹昭議員

Q平成25年度予算編成に込めた思い、並びに特に取り上げる重点事業について問う。

A上田市長　「ひと・まち・産業が元気なまち 滑川」を実現するための諸施策の推進、国の緊急経済対策に呼応しての施策の展開から、3月補正予算と一体的に編成した。

重点事業として、全小中学校の空調機器設置事業、スポーツ・健康の森公園の総仕上げや公共施設の耐震化・浸水対策、市制60周年を迎える記念事業等について予算計上した。

Q市制60周年を迎え、滑川市の未来へのありよう、記念事業、そして名誉市民推戴事業について問う。

A池本総務部長　少子高齢化・人口減少の時代と社会環境が目まぐるしく変化するなかで、市民の生活を第一に考え、市民の皆様の笑顔があふれるまちとなるよう、未来に向けて皆さんとともに頑張っていきたい。

記念事業として、11月1日の記念式典をはじめとして全部で36の事業を企画している。

名誉市民については、審議委員会を新年度に組織し、そこでの選考を経て、9月定例会にお諮りし、記念式典で推戴式を行いたい。

Q市民交流プラザの2階スペースの利活用方法並びに今後の運営方法について問う。

A上田市長　市庁舎耐震工事が終了した後、現在の福祉介護課が市民交流プラザ2階から本庁舎へ移転する予定としていることから、その跡スペースの利活用として、私案ではあるが、子どもと親のための政策の一環として「こども図書館」を検討したいと思っている。また、放課後児童対策の役目としての機能を果たしていければと思っている。

A小幡産業民生部長　今後の運営方法として、あいらぶ湯の利用者数も年々減少しているなか、これまで以上に研さんし、利用者に喜んでいただける施設を目指し、各種企画・イベントの実施やサービスの向上対策など集客力のアップに努めるよう、また、徹底した経費削減にも取り組むよう市として指定管理者に対し指導していきたい。

一般質問

1 道路整備について
2 高齢者福祉について
3 PM2・5について

中川　勲議員

Q国道8号の稲泉交差点から早月川までの4車線化はいつ完成か。

A三浦建設課長　現在、北野地内において橋桁工事を行っているところであり、平成24年度の国の補正予算において、滑川・魚津間の整備費として8億円が計上された。稲泉から北野までの1・8キロの区間については、平成26年度までの供用を目標としている。

Q国道8号稲泉交差点の立体交差の予定はあるか。

A三浦建設課長　現時点では事業化の予定はない。市としては4車線化が第一と考えており、交通量等で要望していきたい。

Q学校周辺の除雪が悪いと聞くが、どうなのか。

A三浦建設課長　学校周辺は、生徒の通学に支障のないように、車道除雪と連携を図り、通学路等においてより丁寧な除雪に努めている。

Q地域の重要路線北野高塚線の拡幅整備は計画的に進められないか。

A上田市長　担当課で現地へ調査に入っており、拡幅にはかなりの経費がかさむと思うので、都市計画として対応できるかなど、検討の余地がある。

Qいきいきチェック表を配布し、各種予防教室を行うとあるが、具体的には何か。

A岡本福祉介護課長　65歳以上の6、514名に郵送し、要支援・要介護状態となるおそれの高い方を早期に発見し、必要な支援に結びつけることを目的とし、その結果に基づき各種介護予防教室への参加勧誘を行う。具体的には、マシン使用の筋力トレーニング運動を中心とした運動実践教室、管理栄養士や歯科衛生士による口腔・栄養実践教室。趣味活動を取り入れた認知症予防実践教室の3つの2次予防教室を開催している。また、広く一般高齢者を対象に1次予防教室として、介護予防の普及啓発や介護予防活動の習得を目的に、月1回交流プラザにおいて講義や実技を行っている。

QPM2・5監視装置を市として設置しないのか。

A上田市長　体に関することなので、監視して通報が市民に届くよう私の思いでつける方向でやる。

その他の質問事項

Q滑川市平和の塔について

Q技術監督について　外

一般質問

原　明 議員

1 観光振興について
2 農林業の振興について
3 滑川市の入札状況について
4 スポーツ・健康の森公園整備について

Q 北陸新幹線の開業に向け、県や各市町村が特色を生かした観光ブランドの確立に取り組んでいるが、滑川市の取り組みはどうなっているか。

A 碓井商工水産課長　東京のいきいき富山館でのPRや、新川地域観光開発協議会、一般社団法人富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏協議会と連携した首都圏での出向宣伝を実施している。広域の観光については、姉妹都市の小諸市が新幹線の沿線上にあることから、観光交流の提携を視野に入れ、検討していきたい。

Q 氷見・滑川間の観光船運航計画は、2回予定されているが、富山湾内に隣接している他市町との広域的な観光を視野に入れて、進めるべきであると思うが、どうか。

A 久保副市長　沿岸海域の市町との連携が可能であれば、富山県の観光にとっても強みであるので、強力に各方面へ働きかけていきたい。

Q 本市の市有林の活用状況はどうなっているか。

A 膳亀農林課長　市有林の活用は、現在建築中の西滑川駅のトイレにスギを使用している。

Q 児童館建築に使用すると聞いているが、今後の使用予定はあるのか。

A 膳亀農林課長　今後、児童館の建築には、ぜひ市有林のスギを使用したいと考えている。

Q 市の入札において、技術者や下請業者がいないなどの理由で不調となった入札はあったのか。あったとすれば、その件数と理由は何か。

A 杉田財政課長　去る1月に実施した寺家小学校耐震補強工事（第1期工事）の入札が不調に終わっており、一番の原因は、国の補正予算の関係で工期が非常に短く、年度内での完成が義務づけられていたことであったと思っている。

Q スポーツ・健康の森公園内、子供げんき広場に設置されている遊具の人気が高く、利用者の皆さんから、遊具の種類や敷地の整備を望む声があるが、どう考えているか。

A 上田市長　陸上競技場のエントランス広場の中にでも取り入れられるなら、1カ所じゃなく、もう1カ所入れるよう、検討したい。

一般質問

開田晃江 議員

1 教育について
2 市制60周年事業について
3 東加積地区の里山を古里眺望点に

Q 教育センターにいじめ対策本部を設置してはどうか。

A 石川教育長　教育センターを滑川市の教育の司令塔にしたい。現在も保護者からの電話相談や来所相談もあり、臨床心理士による面談も行っている。対策本部とのことだが、市のいじめはそこまで重大化になっていない。

Q 当市における不登校児童・生徒は何人か。また県内の状況はどうなっているか。

A 山岸学務課長　小学生7人、中学生33人の計40人で、県全体では小学生201人、中学生（私立及び附属中学を除く）は637人、中学生は若干当市のほうが県平均を上回っている。

Q 学力到達度検査とはどのようなことか。検査なのか、調査ではないのか。

A 山岸学務課長　テストが1つ増えるということで、年間の学習目標について到達度を確認するための検査であり、学力を調べるというような調査ではない。

Q 単年度だけか、継続するのか。

A 山岸学務課長　今後、効果を検証し、当面は継続して実施していきたい。

Q 市制60周年事業で、ご当地ナンバープレートを作製する報告があり、デザインはキラリンとの説明であった。ホタルイカではないのか。

A 大澤税務課長　ひかりの街ということもあり、検討していきたい。

Q 市民参加の音楽祭をなぜ新川文化ホールで行うのか。（市民はがっかり）

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長　会場の選定には170名を超える方に対応できるステージとスペースの確保が最優先課題であり、主催者側との協議の時期にはまだ滑川市民大ホールの改修の日程が決まっていなかった。

Q 新幹線の開通を見込んで、「ホタルイカのまち・滑川市へようこそ」といった電飾看板を設置して、ホタルイカを全国に発信できないか。

A 碓井商工水産課長　非常におもしろいアイデアであるが、場所の選定、底地の所有権の問題、そのほか相当の面積が必要であり、関係法令の問題点、PRの効果など照らし合わせて、どのような形で実現できるか調査研究をしていきたい。

一般質問

１市内公共施設へのＷｉ-Ｆｉスポット設置を求める
２駅前団地の性急過ぎる対応を問う
３適正・公正な入札への取り組みを問う

高木悦子 議員

Qコンベンション誘致に向けた宿泊助成制度を新設するが、合宿や企業の団体利用を促すためにＷｉ-Ｆｉ環境は不可欠である。青雲閣など公共の宿泊施設への設置はできないか。

A富士原企画政策課長　合宿の誘致に弾みを付けるため、ケーブルテレビ回線がつながって整備しやすい青雲閣に優先的に設置する方向で検討している。

Q道の駅や市民交流プラザ、博物館、図書館などへの設置はどうか。

A富士原企画政策課長　人が集まる場所へのＷｉ-Ｆｉスポットの設置は、Ｎｅｔ３と共に協議したい。

Q雇用促進住宅の廃止まで猶予があるのに、上小泉宿舎で入居停止措置を取っているのはなぜか。

A児島まちづくり課長　国の方針で上小泉宿舎は採算性の悪いことを理由に入居停止となっている。

Q雇用促進住宅が10年という猶予を設けているのに対して、駅前団地の居住者に極めて性急な退去を求めるのはなぜか。

A児島まちづくり課長　老朽化のため多額の費用が必要で、耐震化も懸念されている。

Q老朽化を放置した責任が住民の方にあるか非常に疑問である。「75％が移転に賛成は本音と違う」という声もある。意向調査では、居住者の権利を文書で提示をしたか。

A児島まちづくり課長　口頭で移転のお願いをし、文書提示はしていない。

Q入札公告で、入札参加資格者に関する項目の変更は、過去５年間において何件行われているか。

A杉田財政課長　22年度１件、23年度と24年度は各３件となっている。

Q公告後数日で入札資格の変更を行うきっかけに業者からの指摘を受けてということがあるようだが、個々の理由は。

A杉田財政課長　特殊な工事で経験が無く、表現方法が過大だったり、求める技術者が過大であったりという面が多い。

Q市長は企業努力と言うが、企業努力にも限界がある。市内業者の体力を奪うことを滑川市はしてはならない。除雪対応等滑川市の安全・安心のためにも、適正・公正な入札機会を与えられたい。

A杉田財政課長　入札については、常に公正を旨とし適正に実施していく。

一般質問

１「子育て環境」の整備について
２市営住宅（シーサイドタウン有磯住宅）の環境改善について

野末利夫 議員

Q子ども・子育て関連３法の成立を受けて、滑川市における子ども・子育て会議の創設について

A川原子ども課長　計画策定にあたり、制度の趣旨を踏まえて、教育・保育両分野の有識者や子育て当事者の方々の意見を聞くことが大切である。今後、新年度、時期を見て設置したい。

Q滑川市における事業計画のスケジュールについて

A川原子ども課長　平成25年度において、国の子ども・子育て会議でニーズ調査に係るアンケート案が提示される。それを踏まえてニーズ調査を実施、子ども・子育て会議を設置し、平成26年において子ども・子育て支援事業計画を策定、規則や条例改正等の実施を行い平成27年度から新システムの本格施行を考えている。

Q利用者支援について

A川原子ども課長　実施予定のニーズ調査に基づき、滑川市の実情に合った子育て支援を行っていく。新しい制度の意向については、広報、ホームページ等を通じて市民の方に周知をしていきたい。

Q放課後児童クラブのニーズも高いが、今後、６年生までの拡充計画は。

A川原子ども課長　子ども・子育て関連３法が成立しその中で放課後児童クラブの対象年齢が「おおむね十歳未満」が削除され、「小学校に就学している児童」と拡充されている。対象学年が拡充されたことで、放課後児童クラブの利用に係る要望がどれほど増えるか、現時点では不明であり、ニーズ調査に基づき対応を考えていきたい。

Qシーサイドタウン有磯住宅のカビ対策は。

A児島まちづくり課長　３ＬＤＫに限らず、入居の方からカビの発生については連絡を受けている。対策として、ファンヒーター等の燃焼系の暖房機は、カビの原因である結露が起こりやすく、小まめな喚起を心がける等案内している。２月には部屋の湿気の状態がどうなっているかテストを行っている。テストの結果を踏まえ、今後どのような対策をしていくか検討していきたい。市と入居者の方と協力しながら対応していきたい。

一般質問

滑川市の防災計画について問う

石倉正樹議員

Q市長の提案理由説明の中に「地域防災力向上のための施策を展開していく」とある。市民を対象とした防災講演会とは具体的にはどのようなことをやるのか。

A折田総務課長　昨年の3月末に県が公表した津波シミュレーション調査の結果、当市では7・1メートルの津波が2分で沿岸に到達すると想定されることから、多くの市民の方々が津波に関心を持っておられる。講師に「釜石の奇跡」で全国的に有名な群馬大学広域首都圏防災研究センター長の片田敏孝教授を招き開催する。

Q海岸護岸の未整備地区の町内会を対象とする資機材の整備とは、どのようなことか。

A折田総務課長　橋場地内から高月町地内の滑川西地区は未施工の状態である。県の補助事業を活用し、主に滑川西地区の沿岸自主防災組織を対象に、避難行動の際に有効と考えられるライフジャケット、ゴムボート、救助ロープなどの津波対策資機材の整備に対する補助を行う。

Q各地域の団体と連携して行う防災の取り組みに対し、具体的に何を支援するのか。

A折田総務課長　津波対策資機材整備事業と同様に、県の補助事業を活用し、自主防災組織が主体となって消防団や学校などと連携して取り組む地区の避難訓練経費に対して補助を行う。

Qあくまでも申し出があればやるということか。

A折田総務課長　今のところ、東地区、西地区の2カ所を想定している。

Q公共の建物の耐震化はいつごろまでに完了するのか。

A折田総務課長　平成25年度までには、全ての耐震化を終えるよう取り組んでいく。

Q市営駅前住宅は、耐震化の計画の中に入っているか。

A折田総務課長　入っていない。

Q市民の防災に対する意識が高まっていることから、市全体での防災訓練ができないか。

A上田市長　市全体の防災の日が設けられれば、悪いことではないと思う。さらに検討する。

一般質問

市民交流プラザの指定管理について

森結議員

Q市が民間会社と交わした契約または仮契約を、破棄するというとはどういう意味をもつか。

A上田市長　㈱ホクタテには指定管理者候補者として通知したが、12月市議会に提出する旨の記載をしており、契約、仮契約の破棄にはならない。

Q㈱ホクタテに破棄を伝えた時の反応は。

A小幡産業民生部長　今回頑張って提案させていただいた。びっくりしている。残念だ。とのことであった。

Q㈱ホクタテから違約金などの請求はなかったか。

A小幡産業民生部長　電話のやり取りでは相当いろんなやり取りがあったが、違約金などのそういう請求はなかった。企画は私どもの企画だから、黙ってやってもらっては困るとのことであった。

Q社会的な信用を失墜したと思われるが。

A小幡産業民生部長　直接滑川市が信用を落としたとは聞こえてこないが、15市町村の中で何か言っているのではないかと内心思っている。

Q文化スポーツ振興財団から㈱ホクタテに管理を変えようと決めた時に何人の従業員に雇い止めの通告をしたか。

A小幡産業民生部長　昨年の11月末に嘱託職員4人、臨時職員4人に通告した。

Q指定管理者を変えようとした時に、従業員の雇用についてどのように考えたか。

A小幡産業民生部長　募集要項の中に引き続き勤務を希望するものを引き続き雇用するとしている。

Q指定管理者の変更は組合潰しの意図があって「出来レース」との声を聞いたがその真意は。

A小幡産業民生部長　そのようなことは全く思っていない。

Qエールとは駐車場利用について覚書があるが指定管理者の選定に影響があったか。

A小幡産業民生部長　関係なかったと思っているが、結果的に否決されたということはあったのかと思われる。

Q選定に関して、エールに相談や承諾を得る必要があったのか。

A小幡産業民生部長　スムーズにいくことが重要であり、そういう意味では根回し不足だった。

一般質問

1市民会館大ホール改修工事について
2市庁舎耐震化工事費の変更について
3農政について

前田新作議員

Q市民会館大ホールの改修にあたって、利用される団体や管理者などの意見を聞かれたのか。また、屋根の強度不足と聞いているが、今回改修されるのか。

A杉田財政課長　今回の改修は、災害時の市民の避難施設として、また大ホールを利用する市民の命を守って、安全で安心して使えることを主目的としたもので、大がかりな改修は想定していない。文・スポ担当者と大ホールを見て回った。一番危惧しているのは、屋根の強度ではなく、天井材が大地震によって剥が れ落ちることである。

Qもっと予算をかけて完全なものにすべきでないのか。

A杉田財政課長　そういう意見もあるが一方ではあの建物にどれだけかけるんだという意見もあることから、その両方の意見を聞きつつ、必要最小限の改修をする。

Q市庁舎は、耐震化工事後5年以内に手直し工事をしなければならなかった。今回入札差金が出たので、この機会にその工事を進めたいと説明されたが、工事請負契約後即変更はいかがなものか。

A杉田財政課長　確認申請の中で、今すぐやらなければならないもの、5年以内にやらなければならないものがある。例えば防火区画は改修工事と一緒にやる必要がある。内装で燃える物を使っているものや24時間換気、非常灯の設置などは、5年以内でやるよう指示があった。入札した結果、請負差額が出たので、予算の範囲内で改修する。

Q学校給食の食材を、できるだけ市内で生産されたものの使用率を高めていくために、もっと多くの営農組織にいろんな野菜の生産等の取り組みのお願いをできないか。

A膳亀農林課長　学校給食用野菜については、昨年度に滑川市蔬菜園芸協会が導入した畝立機、野菜定植機などを活用しながら、関係機関と協力し、営農組織に対して作付の推進を行ってきた。新年度は昨年度より、作付面積が拡大される。

その他の質問事項

Q市民交流プラザの指定管理について

Q平成25年度予算より

Q市長提案理由説明より

一般質問

1聴覚障害者世帯の火災警報器設置について
2生活保護基準引き下げに関連する影響について

古沢利之議員

Q聴覚障害者用の火災警報器は高価と聞いている。設置状況を調べているか。

A岡本福祉介護課長　障害者に対する日常生活用具給付制度で平成21年に1世帯に3台支給した実績がある。それ以外は把握していない。

Qこの給付事業の対象になるのは、障害2級以上で障害者のみの世帯だ。聴力障害者は1級10人、2級34人、3級14人、6級までの全体で127人と聞いている。障害者のみの世帯ではなく、対象を広げるべきではないか。

A岡本福祉介護課長　市の基準は国の基準と同様で、対象者の拡大については、他の市町村の状況を見ながら研究したい。

Q命にかかわる問題だ。市長はどう聞いていたか。

A上田市長　市民はひとしく滑川市の宝であり、前向きに検討したい。

Q安倍内閣は生活保護基準の引き下げを計画している。3年間で7・3%の削減計画だ。物価の下落を大きな理由としているが、生活必需品は下がっていない。受給者だけの問題ではない。どういう制度に影響があるか。

A小幡産業民生部長　就学援助、国民年金保険料、国民健康保険、保育料などの免除区分等々がある。その他地域別最低賃金も影響があると見ている。

Q広い範囲に影響が及ぶ。厚生労働省の見解は。

A小幡産業民生部長　国の制度については影響を受ける制度の趣旨や目的を考慮してできる限り影響が及ばないよう対応するとしている。

Q地方の制度については。

A小幡産業民生部長　国の取り組みを説明し、趣旨を理解したうえで自治体において判断してほしいとしている。

Q就学援助で「要保護」となっている児童・生徒が基準見直しで外れることはないか。

A山岸学務課長　平成25年度当初に就学援助を受けている者は、見直し後も援助を行っていく。

Q年度が変われば変わる可能性があるか。

A山岸学務課長　そうなると思う。

Q「準要保護」の就学援助はどうなるか。

A山岸学務課長　準要保護者は市の要綱で定めている。影響が及ばないように検討したい。

一般質問

1災害廃棄物の広域処理について
2地方公務員の給与について
3記念事業やイベント等のPR方法について

水野達夫議員

Q現時点で周辺住民の理解は得られていると思うか。

A上田市長　特に地元の皆さんの理解がなければ進まないことであり、トータルとして理解が得られた上での判断であると思っている。

Q周辺住民の理解は不十分だと思うが、富山市長へ助言をお願いできないか。

A上田市長　これ以上言うつもりはない。これまで十分時間をかけながらの判断であったと理解したい。

Q岩手県山田町の木くずを主とした可燃物がどれだけ残っているのか。

A小善生活環境課長　富山県の割り当て数量は8千3百トンとされている。これ以上の資料は持ち合わせていない。

山田町仮置き場（H25. 3. 28）

Q富山地区広域圏事務組合が富山市の母親ら十数人を告訴した件について、理事会の意思に従って決定されたものなのか。

A小善生活環境課長　焼却場を管理する立場からやむなく告訴の手続きをとられたものと理解している。

Q上田市長は理事の一人である。この告訴に関して、決裁に参加されたのか。ハンコを押されたのか。

A上田市長　ハンコを押すことはしていない。

Q地方交付税削減と地方公務員給与に関して、地方六団体や全国市長会でも緊急アピールが公表されている。市の見解は。

A折田総務課長　今回の国における一方的な削減要請は不本意なものであると考えている。職員の給与削減に係る今後の対応については、県及び県内市町村の状況を勘案の上、実施の有無を検討してまいりたい。

QSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報発信ができないか。

A富士原企画政策課長　スマートフォンの普及を背景として、新たな行政情報の発信手段として導入する団体が増えてきている。先行事例等も見ながら検討してまいりたい。

一般質問

1予算編成について
2都市基盤の整備について
3教育文化の向上について

中島勲議員

Q公共施設の維持管理費の縮小への取り組みとして、具体的にどうしていくのか当局の見解を問う。

A池本総務部長　今後5年、10年あるいは長期的なスパンで公共施設をどうしていくのか。維持修繕をかけて今後とも永続させていく。あるいは、統廃合ということも見据え、公共施設のあり方について庁内の検討チームを早急に立ち上げて検討していきたい。

Q市街地活性化対策の中で、まちなかのにぎわい、良好な住環境の整備を図る事業が平成25年度最終年度である。今までの成果と課題について見解を問う。

A東建設部長　住宅取得支援事業については36世帯が制度を利用し、親族2人であった世帯が3世帯になるなど、当時112人が128人、16人増となっており定住人口の確保に寄与している。危険老朽空き家対策事業については8棟の取り壊しの実績があり、防犯や防災、地域の安心・安全に一定の効果を上げていると考えている。今後の課題としては、まちなか居住推進事業については、もともとまちなかに居住している方々が郊外へ転居されるケースを少なくすること。市街地空き地空き家活用支援事業及び危険老朽空き家対策事業については、いずれも要件の緩和等の検討が必要でないかと考えている。

Q危険老朽家屋対策として条例化の検討を早急にすべきでないかと思うが、当局の見解は。

A東建設部長　現在、呉西の2市で条例化を進めているという情報があり、それらを参考にしながら条例制定に向けどのようにしていけばいいか検討していきたい。

Q音楽教室の予算が減額になったまま、なおかつ内容が当初の目的と大きくずれてきている。さらに60周年記念事業で幼児、子ども、生徒向けの企画が見えない。当市の芸術・文化に対する認識はこの程度か。当局の見解は。

A嶋川生涯学習・スポーツ課長　新年度予算には新規事業を含め計上している。音楽教室については、学校にも説明し、本来の趣旨の事業を徹底していきたいと考えている。

一般質問

1 安心・安全について
2 新幹線開通に向けての諸問題について

岩 城 晶 巳 議員

Q滑川市全体の「通学路の安全点検」の結果はどうだったか。

A山岸学務課長　今回24カ所の点検を行い、そのうち12カ所について安全対策を講じた。未実施箇所については、国、県等を含めて対応していくこととしており、引き続き早急な対応を関係機関に要望したい。

Q橋梁長寿命化修繕計画はどうなっているのか。

A三浦建設課長　市内の2メーター以上の橋梁293橋について、目視による橋梁の損傷・劣化度合い等の調査を実施し、長寿命化修繕計画の策定が必要となる橋梁が107橋、37％でかけかえを必要とする橋梁はない。

長寿命化修繕計画においては、損傷の原因の推定、健全度の評価、補修工法、補修費、補修の時期、対策橋梁の優先度、橋全体の対策スケジュール等を考慮して、緊急対応の必要のあるもの、損傷拡大を防ぐ必要のあるもの、軽微な損傷の補修が必要なもの、経過観察を要するもの等に分類し、計画策定を年度内に行うこととしている。

Q新幹線開通後の第三セクターの新駅は市単独でも設置するのか。

A富士原企画政策課長　大変厳しい状況であるが、市単独でやるか、補助金をもらってやるかにかかわらず、市にとっては大きな負担が発生する。市単独でもやるのかという結論より、市と市議会のほうで候補地の案の選定、どれだけの費用が発生するかを集約して、それを市民の皆様にお示しして、十分議論をして、その結果も踏まえながら、県や運営会社と粘り強く働きかけたうえで結論を導くべきと認識している。

Q滑川駅・東滑川駅の駐車場を整備して、利用しやすくしてほしいとの要望があるが、市の考えは。

A富士原企画政策課長　利用促進を図るためには、駅の周辺を整備することが大変有効である。利用状況は、滑川駅周辺の駐車可能台数は142台で約5割相当の75台、東滑川駅周辺は32台の約6割で20台の駐車場がある。今後の利用状況を注視しながら、利用者の利便性確保に努めてまいりたい。

その他の質問事項

Q学校教育について

委員会

3月定例会の委員会の審査から

3月定例会の各委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教消防委員会

審査議案は12議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第3号　平成25年度滑川市一般会計予算
▼議案第11号　平成24年度滑川市一般会計補正予算（第6号）
◆議案第16号　滑川市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
◆議案第27号　フットボールセンター富山の設置及び管理に関する条例の制定について
◆議案第28号　富山県東部消防組合の設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
◆議案第29号　市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
◆議案第32号　滑川市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
◆議案第36号　フットボールセンター富山の指定管理者の指定について
◆議案第37号　工事変更請負契約の締結について（滑川市庁舎［本館・別館］耐震補強等工事）
◆議案第38号　富山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について
◆議案第39号　高速自動車国道における救急業務に係る支弁金取扱事務の受託について
◆議案第40号　不動産の取得について

■産業厚生建設委員会

審査議案は20議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第3号　平成25年度滑川市一般会計予算
▼議案第11号　平成24年度滑川市一般会計補正予算（第6号）
▼議案第12号　平成24年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
▼議案第13号　平成24年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
▼議案第14号　平成24年度滑川市下水道事業特別会計補正予算（第3号）
▼議案第15号　平成24年度滑川市水道事業会計補正予算（第1号）
◆議案第17号　滑川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
◆議案第18号　滑川市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について
◆議案第19号　滑川市道路の構造の技術的基準等を定める条例の制定について
◆議案第20号　滑川市道路に設ける案内標識等の寸法を定める条例の制定について
◆議案第21号　滑川市高齢者、障害者等の移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について
◆議案第22号　滑川市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について
◆議案第23号　滑川市都市公園及び公園施設の設置基準を定める条例の制定について
◆議案第24号　滑川市高齢者、障害者等の移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制

定について

◆議案第25号　滑川市公共下水道の構造等の基準を定める条例の制定について

◆議案第26号　滑川市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の制定について

◆議案第30号　障害者自立支援法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

◆議案第31号　滑川市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第33号　平成24年度滑川市水道事業会計資本剰余金の処分について

◆議案第35号　滑川市民交流プラザの指定管理者の指定について

■予算特別委員会

審査議案は７議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第４号　平成25年度滑川市国民健康保険事業特別会計予算

▼議案第５号　平成25年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計予算

▼議案第６号　平成25年度滑川市介護保険事業特別会計予算

▼議案第７号　平成25年度滑川市下水道事業特別会計予算

▼議案第８号　平成25年度滑川市農業集落排水事業特別会計予算

▼議案第９号　平成25年度滑川市工業団地造成事業特別会計予算

▼議案第10号　平成25年度滑川市水道事業会計予算

第１回臨時会の委員会の審査から

第１回臨時会の各常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教消防委員会

審査議案は１議案であり、原案のとおり可決しました。

◆議案第１号　工事請負契約の締結について（滑川市庁舎［本館・別館］耐震補強等工事）

■産業厚生建設委員会

審査議案は１議案であり、原案のとおり承認すべきものと決定しました。

◆議案第２号　地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

中学校ＰＴＡ役員等と市議会との意見交換会

２月８日、中学校ＰＴＡ役員等と市議会との意見交換会を初めて開催しました。ＰＴＡ20名と議会14名の出席で、各学校における現状や諸問題、部活動などについて積極的に質問や意見が交わされました。

滑川商工会議所と市議会との意見交換会

４月11日、滑川商工会議所と市議会との意見交換会を初めて開催しました。商工会議所からは会頭をはじめ８名と議会13名の出席で、市議会の定数や報酬、魅力ある議会のあり方などについて積極的に質問や意見が交わされました。

会派の異動等

一心クラブ（高橋久光会長）の所属議員が１名（石倉正樹議員）増え、７名から８名になりました。

キラリンのひとくちメモ

第３回は、誌面の都合上、お休みいたします。

議会放送と録画放送等のご案内

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ092チャンネル（アナログは８チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、６月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（６月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話４７５−２１１１（内線３７１）

議会報編集委員

水野達夫委員長　前田新作副委員長
岩城晶巳委員　古沢利之委員
中川　勲委員　野末利夫委員

３月定例会での①議員提出議案、②意見書提出要請、③要望書について

件名及び提出者		処理結果
①　議員提出議案（４件）		
1　議員提出議案第２号	地方固有の財源である地方交付税制度の堅持を求める意見書	本会議結果＝可決
滑川市議会議員	開田晃江　外５名	
2　議員提出議案第３号	年金2.5％削減中止を求める意見書	本会議結果＝否決
滑川市議会議員	古沢利之　外１名	
3　議員提出議案第４号	生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書	本会議結果＝否決
滑川市議会議員	水野達夫　外１名	
4　議員提出議案第５号	災害廃棄物の広域処理に関する刑事告訴を取り下げ、住民との十分な話し合いの場を設けることを求める意見書	本会議結果＝否決
滑川市議会議員	水野達夫　外１名	

②　意見書提出要請（５件）
　1　年金2.5％の削減中止を求める意見書……議会運営委員会不一致
　　　全日本年金者組合新川支部　支部長　寺　田　正　男　（議員提出議案第３号へ）
　2　生活保護制度の見直しを求める意見書……議会運営委員会不一致
　　　滑川市議会議員　水　野　達　夫　（議員提出議案第４号へ）
　3　地方固有の財源である地方交付税制度の堅持を求める意見書……議会運営委員会一致
　　　滑川市議会議員　水　野　達　夫　（議員提出議案第２号へ）
　4　生活保護基準の大幅引き下げと制度「改定」計画の中止・撤回を求める陳情書……議会運営委員会不一致
　　　生活・福祉ネットワークとやま準備会　共同代表　岩　場　達　夫　外１名　（議員提出議案第４号へ）
　5　災害廃棄物の広域処理に関する刑事告訴を取り下げ、住民との十分な話し合いの場を設けることを求める意見書……議会運営委員会不一致
　　　滑川市議会議員　水　野　達　夫　（議員提出議案第５号へ）

③　要望書（６件）
　1　精神障害者の施策充実に関する要望書……全議員へ参考配付
　　　つるぎの里家族会　会長　岡　部　清　文　外２名
　2　「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法（代替業務並びに転廃交付金措置実施）」の遵守について及び「一般廃棄物の収集、運搬、処分等の委託料が受託業務を遂行するに足りる額であること」という法律施行令の遵守について……全議員へ参考配付
　　　日本環境保全協会　会長　宇田川　育　男　外１名
　3　地球社会建設決議に関する陳情書……全議員へ参考配付
　　　荒　木　　實
　4　農薬を含むがれきの受入表明撤回を求める陳情書……全議員へ参考配付
　　　山　本　節　子　外４名
　5　東日本大震災により発生した災害廃棄物の本焼却停止に関する陳情書……全議員へ参考配付
　　　笹　野　　瞳　外53名
　6　東日本大震災により発生した災害廃棄物の本焼却に関する陳情書……全議員へ参考配付
　　　笹　野　　瞳　外54名

３月定例会での本会議の結果について

議案内容等　　**採決結果**

◎議案第３号（分離採決）……原案可決（賛成多数）
　平成25年度滑川市一般会計予算
　賛成者＝水野・高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・中川・野末・森・高橋・前田
　反対者＝古沢

◎議案第37号（分離採決）……原案可決（賛成多数）
　工事変更請負契約の締結について（滑川市庁舎〔本館・別館〕耐震補強等工事）
　賛成者＝原・岩城・石倉・中島・古沢・浦田・開田・中川・野末・高橋
　反対者＝水野・高木・森・前田

◎議案第４号～議案第33号、議案第35号～議案第36号、議案第38号～議案第40号
　平成25年度滑川市国民健康保険事業特別会計予算　外34件……原案可決（賛成全員）

◎議案第41号　滑川市公平委員会の委員の選任について……原案同意（賛成全員）

◎議員提出議案第２号……原案可決（賛成全員）
　地方固有の財源である地方交付税制度の堅持を求める意見書

◎議員提出議案第３号……原案否決（賛成少数）
　年金2.5％削減中止を求める意見書
　賛成者＝水野・古沢・野末・森
　反対者＝高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・中川・高橋・前田

◎議員提出議案第４号……原案否決（賛成少数）
　生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書
　賛成者＝水野・古沢・森
　反対者＝高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・中川・野末・高橋・前田

◎議員提出議案第５号……原案否決（賛成少数）
　災害廃棄物の広域処理に関する刑事告訴を取り下げ、住民との十分な話し合いの場を設けることを求める意見書
　賛成者＝水野・古沢・中島
　反対者＝高木・原・岩城・石倉・浦田・開田・中川・野末・森・高橋・前田

第１回臨時会での結果について

議案内容等　　**採決結果**

◎議案第１号～議案第２号……原案可決（賛成全員）
　工事請負契約の締結について（滑川市庁舎〔本館・別館〕耐震補強等工事）　外１件

◎議員提出議案第１号……原案可決（賛成多数）
　滑川市議会政務活動費の交付に関する条例の制定について
　賛成者＝水野・高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・中川・野末・高橋・前田
　反対者＝古沢・森